

戸破地区地域課題会議

戸破にいつまでも住める地域づくり計画表

	問題	目標	どのように（具体策）
1	高齢者だけではなく、多世代が安心してふらっと集える場所がない	誰もが歩いていける範囲で気軽に集える場所をつくる	戸破地区のいくつかの場所に多世代で集える場をつくり、集まった人でより充実した活動の場を作り上げていく。 戸破コミュニティセンターの玄関正面のフロアーを誰もが利用できるような場所にする等、戸破コミュニティセンターが有効に活用される方法を考える。
2	地域の活動に主体的に参加する人が少ない。	地域で活動する人を増やすことで地域を活性化する	戸破地区の行事に多世代が参加できるよう各種団体に企画段階から参加してもらう 行事の際には、町内名や名前を書いた名札を付けてお互いの顔と名前が一致するようにする。 高齢者が生きがいや誇りをもって活動できる人材バンクをつくる。
3	日常の生活を支える体制が弱い	日常生活に必要な支援（相談・援助）を受けられる支え合いの体制が充実する（買い物・通院・除雪・ちょっとした困りごと等）	福祉なんでも相談室、ケアネットなど既存の助け合いの活動を再検討するとともに活動を周知する ネットワークひばりやホームページ等で住民サポートを募集し、ちょっとした困りごとの支援を行うシステムをつくる 高齢者に優しい公共交通機構の整備を行政に要望する
4	現在の戸破地区の力を継続できるか不安がある	次世代を担う人にも戸破地区の活動を知ってもらいその取り組みに参加・協力してもらおう	組単位で地域について話し合いの場をもつ 各種団体の若い世代の人にも地域行事の企画段階から参加してもらい地域愛を育む ホームページやネットワークひばりを通じて地域の活動の発信続けていく 地域課題会議についての展示を行う機会をつくる